

第93回 選抜高等学校野球大会

3時間を超える激闘！ 東播磨高校VS明豊高校



3月22日(月) 1回戦

明豊 大分 10-9 東播磨 兵庫

試合終了

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	計	安	失
東播磨	3	0	1	0	0	1	3	0	1	0	0	9	9	0
明豊	3	0	2	0	0	4	0	0	0	0	1	10	12	0



第93回選抜高等学校野球大会3日目の3月22日(月)、21世紀枠で初出場を果たした東播磨高校は、九州地区代表の明豊高校との1回戦に臨み、3時間を超える激闘のすえ延長11回、惜しくも9対10でサヨナラ負けとなりました。

対戦相手の明豊は、春夏合わせて11回の甲子園出場を誇り、経験では圧倒的に上回っていましたが、東播磨は1回から5番の鈴木悠仁選手のタイムリーツーベースなどで一気に3点を先取しました。試合開始早々先制した東播磨の三塁側アルプススタンドでは、新型コロナウイルス感染症対策の影響で声が出せない中、大きく手を叩いたり、その場で飛び跳ねて応援するなど序盤から大きな盛り上がりを見せました。

その後、試合は激しい点の取り合いとなり、東播磨は一時4点のリードを奪われるも、必死に食らいつき、9回の土壇場で同点に追いつく驚異の粘りを見せました。試合は延長11回までもつれ込み、惜しくも敗れましたが、強豪校と互角に渡り合い、今大会21世紀枠最多の9得点を奪う奮闘を見せた選手たちの姿は観客に勇気を与え、まさに記憶に残る好ゲームとなりました。

東播磨高校野球部の皆さん、夏の甲子園でも皆さんの活躍を見られることを期待しています。春夏連続の出場を目指して頑張ってください。

また、東播磨と対戦した明豊は、初の準優勝に輝かれました。おめでとうございます。

甲子園に球場入りした時、バックスクリーンの迫力に圧倒されました。しかし、自分たちの夢の場所が現実の場所になった時、緊張などは一切なくワクワク感が止まりませんでした。甲子園では、アウト1つ取るだけでアルプスの地鳴り、ヒット1本で大きな拍手と応援の音。今までに味わったことない感覚でした。たくさんの方が応援してくださっていることを実感しました。その応援はプレーをしていて、とても心強かったです。ですが、試合には負けてしまいました。自分たちの野球がまだまだだということを実感し、甲子園で一勝するという大きな忘れ物をしたので「夏、もう一度甲子園に行く」ことを野球部員全員で誓いました。

このような充実した時間を過ごすことができたのも、皆さんのご支援、ご声援があったからです。本当に感謝しています。ありがとうございました。

夏もう一度あの舞台へ。

主将 原正宗選手 (新3年)

この度は、皆さんより多大なご声援を頂き誠にありがとうございました。結果としては、皆さんに勝利の歌声を届けることができませんでしたが、生徒たちは持てる力を存分に発揮することができたように思います。

ゲームは、良いスタートを切ったのですが相手の力も素晴らしく、苦しいゲームとなりました。途中、突き放され本当に苦しい展開になりました。私自身、へこたれそうになったのですが、ベンチから紫に染まるアルプスを見上げた時、何かしらの力が湧いてきたのです。本当に心強かったです。

この大会、「ヒガハリ旋風(紫の風)」を甲子園で吹かせようと意気込んでいましたが、その風はアルプスから吹いていると思いました。その風が、私達を強く押ししてくれました。そのおかげで素晴らしいゲームを行う事ができました。

甲子園を去るとき私は、必ずもう一度「この場所」に帰ってくることを心の中で誓いました。アルプスだけでなく応援していただいた皆さんに感謝しています。

これからもご声援、ご指導の程よろしくお願い致します。

福村順一監督



第2弾

住民の皆さんに1人につき

(稲美町独自)経済対策事業

5,000円分の稲美町地域振興商品券を交付します

新型コロナウイルス感染症の拡大により、売上が減少した町内の小規模事業者の支援と消費を喚起することを目的に、今年も住民の皆さんに1人につき5,000円分(500円券×10枚)の地域振興商品券を交付します。

- 交付対象者 令和3年5月10日時点において、稲美町の住民基本台帳に登録されている人
- 引換券の送付 引換券は世帯ごとにまとめて、6月初旬ごろに世帯主へ送付します。
※引換券の再発行はできませんので、大切に保管してください。
※引換期間を過ぎると引き換えはできませんので、ご注意ください。

引換期間	とき	ところ
6月8日(火)～ 6月14日(月)(※)	9:00～16:00	役場新館ロビー及び いきがい創造センター
6月15日(火)～ 7月30日(金)	9:00～16:00 (土・日曜日、祝日は除く)	役場本館1階産業課前

※6月8日(火)から14日(月)までの期間は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、地区別引換日を設ける予定です。詳しくは、広報いなみ6月号でお知らせします。

稲美町地域振興商品券の取扱店を募集しています

町が発行する稲美町地域振興商品券が使えるお店を募集しています。取り扱いを希望される店舗・事業所は、登録の申し込みをしてください(既に稲美町共通商品券取扱店に登録のある店舗などは申し込み不要です)。

- 対象 下記の①から③のいずれかに該当する店舗・事業所
- ①町内に本店がある法人
 - ②町内に事業所がある個人事業主
 - ③町内に居住する個人事業主
- 登録申込 稲美町商工会 ☎492-0200

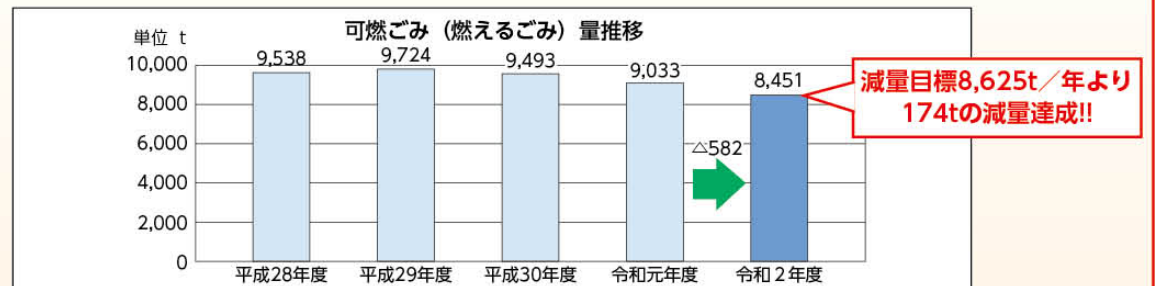
問合せ先 産業課 商工労働係 ☎492-9141

「みんなが主役 取り組もう!!ごみ減量とリサイクル」

ごみ減量目標を達成することができました!

令和2年度の町の可燃ごみの量は、目標の8,625tを下回る8,451tでした。皆さんのごみ減量や分別の協力により、令和2年度は、令和元年度と比べ582tの可燃ごみを減量することができました。ご協力ありがとうございました。

ごみ減量目標は達成できましたが、これからも町としてごみ減量とリサイクルに取り組んでまいりますので、ご家庭にお配りしています「ごみカレンダー」を参考にいただき、生ごみは水を切る、食べ残しをしない、余分なものを買わないなど、ごみの減量に取り組んでいただくとともに、空き缶やペットボトル、古紙類、布類といった資源ごみの分別を徹底していただきますよう、引き続きご協力をお願いします。



【稲美町の可燃ごみ量の年間目標(令和4年度まで) 8,625t/年】

令和4年度のエコクリーンピアはりま(東播磨臨海広域クリーンセンター)の本稼働まで、あと1年を切りました。令和2年度は、ごみ減量目標を達成することができましたが、これからも一層の可燃ごみ減量にご協力いただきますようよろしくお願いいたします!!

◎ごみ処理広域化に向けて、11月1日(月)からごみの出し方が変わります!

- 「プラスチック容器類」は、可燃ごみになります。
プラスチック容器類は、エコクリーンピアはりま(東播磨臨海広域クリーンセンター)で安全に焼却できるとともに、発生する熱で発電もできるため、分別せず「可燃ごみ」として収集します。
- ふとん、カーペットなどを「長尺可燃ごみ」として収集します。
これまで、皆さんに清掃センターまで持ち込みをしていただいていたふとんや、粗大ごみとしていたカーペット・マットを「粗大ごみ」の日に「長尺可燃ごみ」として収集します。
- 「使い切りライター」を分別して「蛍光灯・乾電池・使い切りライター」として収集します。
ごみ収集車の車両火災の原因になる「使い切りライター」を「蛍光灯・乾電池」と一緒に収集します。

問合せ先 生活環境課 環境係 ☎492-9140